

1948年赤十字・共同募金「やまがら」貼り外信便

永吉 秀夫



外信封書 (料金 16 円) 横濱中 S23(1948). 12. 6 → 米国

「赤十字募金」と「共同募金」の2種セットで発行されたうち、後者のやまがら図案の付加金つき切手です。発行枚数は240万枚、前年の「社会事業共同募金」と比べて大幅に削減されましたが、当時の一般的な記念切手と同レベルの(付加金つき切手としては)大量発行となりました。

額面は封書額面の5円で、その通りの1枚貼り封書使用が基本となります。5円時代に発行された記念切手は少なく、しかも付加金つきということなので、そのような1枚貼り封書はぜひ入手しておきたいマテリアルです。

しかし「一歩進んだ収集」としては、それ以外の使用例も何か入手しておきたいもの。額面5円は単位額面としてさまざまな使い方ができる切手です。紹介品はこれを3枚使った外信封書です。不足分の1円切手としては新昭和「北斎の富士」(淡色)を貼ってあります。

貼ってある3枚のうち1枚にキズがあり、消印も少し不鮮明ですが、コンパクトなサイズの封筒にバランスよく切手が貼られていて、見栄えも充分です(主観の問題ですが)。マイアルバムにありがたく納めることにしました。

この切手には同時発行の「赤十字募金」(看護婦図案)と一緒に組みこんだ小型シートも発行されました。付加金が一般シート切手の倍額の5円、しかも無目打ということで、単片に切っても一般品と容易に判別できます。しかしこの小型シート切り抜き貼りの実通便はかなりの希少品です。特に1枚貼りとなるとお宝級。少し前の某オークションで、200万円超の値がついた記憶があります。